

2023

7

兵庫県商工連会報

No.766 2023.6.20
偶数月20日発行

翔光

(題字は斎藤知事)



洲本市五色町の地域特性を生かした料亭お食事処 お多福

サワラ丼がメインのお食事処お多福は、洲本市五色町にて昭和55年に創業。

当時から店主を務めるのは橋詰政直氏である。橋詰氏は商工会の副会長を務め、地域食材活用の情報発信の中心人物として五色町の活性化にも積極的に関わってきた。当店舗においては、サワラの季節の状況を見ながら加工を行いベストな状態でお客様へ提供する事を常に心がけている。

(詳細はP4)

五色町 お食事処 お多福



△ 地元人気食材のサワラ。
脂の乗ったサワラを加工しサワラ丼を作る。
詳細は4頁に記載。

CONTENTS

- 02 | 春の叙勲・褒章・県功労者表彰／県連通常総会
- 03 | 会員加入促進取り組み紹介
- 04-05 | あなたのまちの元気な企業・五色町商工会情報

- 06-07 | 県青連・県女性連・壮青年部 通常総会
新会長・部長就任挨拶
- 08 | 朝来市商工会「あさごPay」

◆◆◆ 春の叙勲・褒章・県功労者表彰 ◆◆◆

(敬称略)

春の叙勲



瑞宝双光章
（猪名川町商工会前会長）
安井一弘



旭日双光章
（香美町商工会元会長）
朝倉富征



旭日双光章
（南あわじ市商工会前会長）
森もり長義



旭日单光章
（太子町商工会前会長）
高井昭彦



黄綬褒章
（淡路市商工会会長）
津田豊

県功労者表彰



女性活動功劳
（県女性連元副会長
神河町）
谷内千恵子



産業振興功劳
（川西市商工会元会長）
國津元司



産業振興功劳
（猪名川町商工会会長）
住野敦



産業振興功劳
（播磨町商工会会長）
平崎泰彦



県功労者表彰



産業振興功劳
（福崎町商工会会長）
大井克哉



産業振興功劳
（朝来市商工会会長）
西垣隆



産業振興功劳
（丹波篠山市商工会会長）
田中義治



産業振興功劳
（南あわじ市商工会会長）
赤穂秀樹

県連合会 第62回 通常総会

5月30日、ホテル神戸北野プラザ六甲荘において、兵庫県商工会連合会第62回通常総会を開催した。当日審議した議案は次のとおり。

第1号議案 令和4年度事業報告及び収支決算承認について

第2号議案 令和4年度特別会計収支決算承認について

第3号議案 任期満了に伴う役員の選任について

第1号議案から第2号議案については、いずれも原案どおり可決承認された。第3号議案については、県青連新会長の藤原輝彦氏、県女性連新会長の生田政美氏がそれぞれ理事に選任された。任期は前任者の残任期間である令和7年度の通常総会までとなる。

また、当日の来賓として、片山安孝副知事、内藤兵衛県議会議長、近畿経済産業局産業部の河上康裕次長が臨席され祝辞を述べられた。

その後、令和4年度会員加入促進キャンペーンにおいて上位入賞した商工会への表彰が行われ、小寺会長が表彰状と報奨金の目録が贈呈した。

表彰された商工会は次のとおり。

新規加入部門 第一位 三田市商工会

第二位 淡路市商工会

第三位 芦屋市商工会

新規加入割合部門 第一位 猪名川町商工会

第二位 三田市商工会

第三位 芦屋市商工会

なお、通常総会に先立ち、第1回理事会が開催され、通常総会提出議案など5議案を審議、いずれも原案どおり承認された。



△挨拶をする小寺会長

**中小企業の皆様を
バックアップ!**

兵庫県神戸市中央区花隈町6番19号
兵庫県商工連協同組合

兵庫信用金庫	姫路信用金庫	播州信用金庫	日新信用金庫	西兵庫信用金庫	中兵庫信用金庫	但馬信用金庫	神戸信用金庫	淡路信用金庫	尼崎信用金庫
(アイウエオ順)									

「しんきんキャッシュカード」を利用すれば、全国にある信用金庫ATMでの入出金手数料が無料です。出先で、旅先でご利用下さい。
(但し、土日・祝日・所定時間外等及び一部のATMは除きます)

会員加入促進取り組み紹介

商工会の組織力強化に不可欠な新規会員の加入促進を図るため、令和4年度「会員加入促進キャンペーン」を県下28商工会で実施した。(結果詳細前ページ参照)

「新規加入部門」及び「新規加入割合部門」で1位となった商工会の加入促進の取り組みについて、以下の通り報告する。

新規加入部門1位

三田市商工会では、毎年行っている「市内経済雇用動向調査」送付時に、約1,000社の非会員事業者に入会案内チラシを同封し、加入促進に繋げている。また、昨年度は、当会の役員にも積極的に加入促進に協力をいただくため、市内事業所の非会員リストを配布し、知り合いの方をご紹介いただくなど役職員が一丸となって進めた。

また、三田市では年間を通じて創業者が多く、「創業塾」では毎年40名を超える参加があり、その際に商工会

三田市商工会

加入のメリットを説明して加入に繋げている。

他にも、昨年度は、商工会を活用出来ずに脱退される事業所を防ぐため、入会5年末満の会員を主な対象として商工会の活用方法を学ぶセミナーを開催し、会員事業所より活用事例を紹介いただくことで、より気軽に相談いただけるように努め、参加者からも好評であった。

このように、商工会全体で加入に繋がる取り組みを行っている。

新規加入割合部門1位

猪名川町商工会は役員25名、職員4名と臨時職員2名体制の小規模な商工会です。日頃よりマンパワーが不足する中、日々役職員が協力し合い、業務に取り組んでおります。

我々が日々意識していること、それは「人が人を呼び、人と人の輪を広げる」といったことです。会員交流会では、新規会員に直接、役職員が交流会への参加を促します。交流会では、会員同士話することで会に馴染んでいき、商工会の活用方法や情報の共有・交換をしています。

また当会では年に数回「がんばる(^^)/会員紹介」と

猪名川町商工会

いう記事を会報に掲載しております。

当記事は、当会の役員が取材先の会員事業所を訪問し、原稿を作成しております。

会員同士が積極的にコミュニケーションを取ることにより、会員同士の強い繋がりへと発展し、事務局はその強い繋がりを絶やすことがないよう全力でサポートしております。

このような、会員と役職員との連携こそが当会の強みであり、連携によって生まれた新たな事業等は、新たな会員を呼び込んだのではないかと考えております。

令和5年度兵庫県主催事業（後援：兵庫県商工会議所連合会、兵庫県商工会連合会）

BCP・BCM支援プログラム
【事業継続計画・事業継続マネジメント構築支援】

災害などから、従業員を守り、製品やサービスの取引先・利用者等を守り、企業が存続できるよう、「こそ」「備える」ことが必要です。
そのためBCP(事業継続計画)策定を兵庫県がお手伝いします。

通常型コース(①～③を別日で開催 段階的に理解と実践)
①支援セミナー、②策定講座、③実践講座を県内各地・オンラインで開催。

土日宿泊型コース(通常型コース①～③を1泊2日で実施)
兵庫県立防災センターで実施。（宿泊費要）

半日型コース(BCPのコア要素を半日で策定する講座)
従業員数が少數・單一拠点の方も参加しやすいコース。

詳細、お申し込み等はWebサイトからご確認ください [兵庫県BCP策定支援](#) [検索](#)

新規採用職員紹介



三田市商工会
新谷 広記

公務員や不動産の営業を経て、この度三田市商工会に勤めることになりました。自然豊かな三田市に来ることがで感謝しています。

商工会の事業を通して創業を志す方々の挑戦を後押しし、事業家の皆様と試行錯誤を続けていきたいです。一日でも早くお役に立てるよう努力しますので、よろしくお願いします。

私たち、兵庫県の皆さんとともに歩んでいく、地域金融機関です。

**ご融資の相談は
お気軽に“けんしん”へ**

■詳しくは窓口へおたずねください。

イベントキャラクター
「ホッピー」

いままで これからも いつまでも 〒650-0023 神戸市中央区栄町通3-4-17
TEL 078-391-6315
<https://www.hyogokenshin.co.jp/>

兵庫県信用組合

7月 のこよみ

- 3日(月) 第1回総務委員会
- 4日(火) 第1回共済事業委員会
- 11日(火) 第2回正副会長会
- 20日(木) 県青連主張発表大会
- 25日(火) 第2回理事会



8月 のこよみ

- 9日(水) 監事研修会
- 10日(木) 第1回
人事管理委員会
- 18日(金) 管理マネジメント研
- 22日(火) 修会



水揚げの「サワラ食材」の発展を全国に！ お食事処 お多福(五色町)

～地元淡路島の食材へのこだわり～

お食事処お多福は昭和55年(1980年)9月に創業し地元淡路島の食材を大いに使った当地で有名な飲食店の1つであり、近年では島外観光客や地元町民にも話題の店舗となっている。

代表の橋詰氏は、大手料亭で修行し調理技術を高め、地元食材を使った飲食店を経営したいということで開業。順調に飲食店経営をしてきたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け来店客は一時激減し、経営の存続が危うくなった時もあった。この状況に対し、通常の営業だけでは不十分と判断し、早期に売上回復を図るには、新サービスでの顧客開拓、来店誘因の対応策、種類の多いメニューの改善などを実施し、このことでサワラを全国的に普及させていくきっかけを得られV字回復をすることができた。



事業の内容について熱く語る
代表者の橋詰政直氏

他にないメニューの開発！

お食事処お多福における看板メニューは2つあり1つが「生サワラ丼」である。脂の乗ったサワラのあぶり加減を調整し山芋をたっぷりかけることでサワラの旨味を味わうことができる。もう1つが希少性を追求した「海鮮天丼」である。こちらも地元食材を使用し大海老・タコ・サワラ等を盛り入れ、特製の甘口しょう油ダレをかけて提供することでお客様からは好評をいただいている。その他にも定食や麺類等30種類のメニューがあり季節性も兼ね備えた店舗となってきている。



当店一番人気の
生サワラ丼



地元食材たっぷりの
海鮮天丼

商工会支援による課題解決

新型コロナウイルスの影響も大きく売上が伸び悩む時期もあった中、五色町商工会の若屋主任の支援を受けることになった。若屋主任は、橋詰氏とヒアリングを重ねる中、「サワラの活用を含めて、新たなメニュー提供や販売促進をしたい」という要望を聞き出し、事業計画の策定や持続化補助金の活用支援に踏み切った。事業計画の策定においては、SWOT分析を行いメニューの絞り込みや、プレスリリースによる認知度向上の支援を行った。持続化補助金では、町内が高齢化していくなかで配達のできるデリバリー専用バイクの導入や淡路西浦海岸県道31号線の利便性を生かして店舗前に特大の看板の設置を行う等今後の店舗運営に見合った支援をしていった。

そういった支援もあり2021年にはTBS「バナナマンのせっかくグルメ!!」が取材に訪れる等、店舗前行列ができるほどの店舗に戻っていった。

また、若屋主任が当店舗の支援実績を令和4年度経営支援事例発表全国大会にて発表し、優良賞を受賞した。



五色バスセンターから徒歩1分で
大きな看板が目印

強みを生かして五色町の知名度向上を

橋詰氏はこう語る。「商売人にとって商工会は、唯一信頼できる相談相手だと実感した。意見の食い違いもあったが、今は絶対的の信頼が生まれ、人ととの繋がりができた。今後はサワラという地域ブランドを全国的に発信し、地域活性化につなげていきたい。」橋詰氏のチャレンジは限りなく続く。

事業所名	お食事処 お多福
代表者	橋詰 政直
住所	洲本市五色町都志174-1
TEL	0799-33-0341
URL	https://awaji-otafuku.com

商工会の紹介ページ

五色町商工会



あまづみとおる
会長 雨堤 徹



Amaz 技術コンサルティング合同会社
代表社員

商工会概況

五色町商工会は、2006年(平成18年)に旧五色町と洲本市が合併し「洲本市」となり、五色町商工会と洲本商工会議所との併存地域となりました。商工業者は306社で小規模事業者は254社、(平成28年経済

センサス)でしたが、会員は336社(令和5年4月1日)です。

五色町は主に農業と漁業が盛んで、農業は鮎原米などがあり、漁業はわかめや海苔の養殖のほか、多くの魚介類が水揚げされており、特にサワラは、年間約81トンの水揚げがあり、淡路島で最大です。地域では古くからサワラを生で食べる習慣があり、サワラを利用した地域グルメ「サワラ丼」が売り出されています。

五色町商工会は、「経営発達支援計画」に基づく、経営計画策定や事業計画策定事業、販路開拓事業に積極的に取り組み、会員事業所のあるべき姿、ありたい姿の実現のため「心と耳を傾けて聞く」ことから支援は始まるとの想いを胸に『会員支援、業務共に一方的でない「対話・傾聴・共感』からの「信頼の醸成」「孤独からの開放』をスローガンに、業務にあたっています。

地域情報

五色町には5つの地区(都志・鮎原・鳥飼・広石・堺)があり商工会では、それぞれ支部として活動しています。

令和3年度青年部 フォトコンテスト入賞作品から

★ 最優秀賞 ★



河上神社天満宮太鼓橋から

鮎原支部

★ 優秀賞 5点 ★



鳥飼支部



鳥飼上下ノ池付近の廃バスと夜景

都志支部



都志港からの風景

鮎原支部



龍宝寺からの風景

広石支部



五色中学校から見た田園風景

堺支部



みたから公園の鯉のぼりと菜の花

観光スポット

ウェルネスパーク五色(高田屋嘉兵衛公園)

緑豊かな大自然の中で楽しんでいただけるさまざまな施設があり、神戸からの直行高速バスもあります(約85分)。楽しくてんこ盛りの「五色」にどうぞお越しください! (ログハウス・オートキャンプ場・ゆ~ゆ~ファイブ【五色温泉】・浜千鳥【公共の宿・レストラン・会議室】・夢工房【体験施設】・テニスコート・わんぱく広場・菜の花ホール【高田屋嘉兵衛顕彰館・歴史文化資料館】・阿久悠「愛と希望の鐘」等)



偉人

高田屋 嘉兵衛

たかたや かへえ

江戸時代後期の廻船業者。淡路島五色町の貧しい農家に生まれた。船乗りになり、後に廻船商人として北方蝦夷地・函館に進出した。国後島・択捉島間の航路を開拓、漁場運営と廻船業で巨額の財を築き函館の発展に貢献する。ゴローニン事件でカムチャツカに連行されるが、日露交渉の間に立ち、事件解決へ導いた。50歳で故郷都志に帰り故郷の発展にも力を注いだ。



後列左から、高嶋臨時職員、清水臨時職員、中野記帳指導員
前列左から、川野主幹、長井事務局長、笛屋主任、中井主事

五色町商工会

〒656-1301 洲本市五色町都志202番地

TEL: 0799-33-0450

県青連 第56回通常総会・第1回幹部講習会

県商工会青年部連合会は4月26日、神戸メリケンパークオリエンタルホテルにおいて第56回通常総会を県関係者・ひょうご共済理事長・全青連会長など、多数の来賓を迎え、コロナ禍前の通常規模で開催した。

議事に先立ち行った部員増強優良表彰では、新規加入者数1位の淡路市商工会青年部、部員増加率1位の稻美町商工会青年部が表彰された。

次に、議事の審議に入り、提出された議案は原案どおり承認された。なお、第5号議案の任期満了に伴う役員選任



△ 挨拶をする小泉前会長

により、藤原輝彦(加東市)会長他、30名の役員が選任された。

その後、引き続き行われた幹部講習会では、元サッカー日本代表選手の玉田圭司氏から、「目標に対する向き合い方」をテーマに講演いただき、多くの参加部員からの質問事項に対してもお答えいただき有意義な研修となった。



△ 玉田圭司様

△ 幹部講習会の様子

県女性連 第56回通常総会・第1回幹部講習会 主張発表大会は原氏(五色町)が最優秀賞に輝く

4月25日、神戸メリケンパークオリエンタルホテルにおいて第56回通常総会・第1回幹部講習会を開催した。総会・講習会ともにリモート配信なしのリアル開催にて行い、兵庫県片山副知事をはじめ県関係者や、ひょうご共済理事長など多数のご来賓をお迎えし、女性部員125名が参加した。

幹部講習会の主張発表大会では、県内7ブロックの代表者が女性部活動や地域振興をテーマに事例発表を行い、審査の結果、最優秀賞を原美奈氏(五色町)、優秀賞を桑田美智子氏(太子町)が受賞した。最優秀賞の原氏は9月に滋賀県で開催される近畿ブロック大会に兵庫県代表として出場予定である。

講演会では、マイスター工房八千代施設長の藤原たか子氏が「地元農産物を活かした巻き寿司によるまちおこし」をテーマに、ご自身の事業を拡大した成功体験や、商品のこだわり、地域を巻き込んだ仕掛けづくり等を講演いただき、女性部員は興味深く聞き入っていた。

通常総会では第1号議案から第6号議案まで原案通り承認された。第6号議案では、任期満了に伴う役員選任が行われ、会長の安積圭美氏(市川町)が退任し、新会長の生田政美氏(淡路市)をはじめ、16名の新役員が選任された。



△ マイスター工房八千代の藤原施設長による講演



△ 主張発表大会で、見事最優秀賞を受賞した原氏(五色町)



△ 挨拶をする安積前会長

壮青年部 第4回通常総会・令和5年度第1回あきんど研修会

5月11日、神戸市・ホテル北野プラザ六甲荘において令和5年度兵庫県商工会壮青年部 通常総会・第1回あきんど研修会を開催した。

今年度は新型コロナウイルスが第5類感染症に引き下げられた中での開催となり部員90名のうち、当日は過去最多で54名の部員が出席した。

通常総会においては、第1号議案から第3号議案まで全て原案通り承認された。第3号議案では、任期満了に伴う役員改選が行われ、山内祥弘氏が新部長に就任した。また、昨年度から大好評の部員が自ら講師となり自身の事業展開について講演を行うあきんど研修会では、当部の部員でも

ある堀成志氏を講師に迎え、『丹波篠山 de 田舎暮らしーまちづくりは人づくりー』をテーマに自身の出身地である丹波篠山市のPRも交えて講演いただいた。今後においても引き続き実施し、部員同士による資質向上を図っていく予定である。



△ 挨拶をする藤原前部長



△ あきんど研修会で講師を務めた堀成志氏

県青連・県女性連・壮青年部 新会長・部長就任あいさつ

兵庫県商工会青年部連合会
会長 藤原 輝彦（加東市商工会）



この度、兵庫県商工会青年部連合会第26代会長を拝命致しました東・北播磨ブロック、加東市商工会青年部の藤原輝彦です。3年半に及ぶ新型コロナウィルスも終結の兆しを見せはじめ、例年通りの活動を再開できるようになってきた中で会長のバトンを受け継ぐ事となりました。青年部は活動を止めていても何も始まりません。このような時だからこそ青年部の力を発揮しないといけないのでないかと私は考えています。

今年度のスローガン「～感謝～ 部員に感謝・家族に感謝・自身に感謝」会長就任に至るまでに本当にたくさんの方々に支えていただき今の私があります。その感謝の気持ちを忘れずに任期中の2年間、前を見続けてまいります。

そして今年度の事業においては全てリアル開催とし、例年通りの環境を整えると同時に、他地域との交流や

部員間同士の交流は勿論のこと、学びの場としても各商工会・各地域そして兵庫県青連に至る全地域を動かしてまいります。

部員間でも経営力の強化を目指して取り組んでいる部会運営をさらに活発化させます。防災部会ではBCP(事業継続計画)、IT広報部会ではソーシャルメディアを取り入れてのPR活動と部員増強において更なる強化を図ると共に「全国に兵庫あり」と積極的にPR事業展開を進めてまいりたいと思います。

コロナ禍で得た経験を生かし私自身、動きを止めずに自県のみならず近畿、全国と活動の輪を広げ2年間の会長職を存分に楽しんでいきます。まだまだ粗削りで未熟な部分もありますが、兵庫のリーダーとして邁進してまいりますので何卒ご指導、ご鞭撻、また県青連事業に対し皆様のご協力頂きます様、お願い申し上げます。



兵庫県商工会女性部連合会
会長 生田 政美（淡路市商工会）



この度、兵庫県商工会女性部連合会第11代目会長に就任いたしました、淡路市商工会女性部の生田政美です。よろしくお願ひします。

さて世の中は、アフターコロナという言葉の通り、活発に動き始めました。兵庫県は東西南北に広がる魅力ある商工会女性部が活動されています。内なる魅力を広げ、部員間の交流を深める事業を行っていきたいと考えております。女性部同士の交流を深めることにより、活性化手法を共に学び、コロナ禍を開拓していくべきと考えています。

具体的には、幹部講習会を県下さまざまな地区で開催し、地区ごとの女性部の取り組みを発表し、先進事例を

学んでいただきます。またグループワークにて新たなアイディアを出してもらえたたら幸いです。さらに近畿ブロック交流会や女性部全国大会などの県外研修にも積極的に参加し、部員資質向上を目指すとともに、部員交流の輪を広げていきたいと思います。

「繋ごう商工会女性部の輪・広げよう商工会女性部の輪」をテーマに、さまざまな事業を進めていきたいと思います。県女性連16人の役員と事務局の体制で、この2年間、明るく楽しく、笑顔の花咲く女性部の皆様の情報発信の場、交流の場となりますよう努めて参ります。皆様方の温かいご理解・ご協力・ご支援の程、よろしくお願ひ申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。



兵庫県商工会壮青年部
部長 山内 祥弘（芦屋市商工会）



この度兵庫県商工会壮青年部第3代部長を拝命致しました芦屋市商工会の山内祥弘です。私は商工会青年部には35歳のときに入部し、兵庫県商工会青年部連合会の理事を38歳から2年間務めました。41歳のときに壮青年部の前身である同友会に入部し、2年前壮青年部副部長となり、現在に至ります。

令和5年5月8日より新型コロナウィルスは2類から5類相当になりましたが、業種によっては大変なご苦労をされた事業所もあるかと思います。今後も補助金や助成金の制度を活用して事業を継続できるよう情報を共有してまいります。壮青年部が発足してすぐにコロナにより活動が自粛せざるを得なくなり、昨年度ようやく

活動が行えるようになったところです。

また発足当時壮青年部の人数も五十数名から現時点で90名まで部員が増えました。これも部員による青年部卒業生への呼びかけ、商工会のご理解による部員の紹介等があります。今後もこのように部員増強を図ってまいります。

昨年度から始めた「あきんど研修会」、ゴルフ等の懇親も行い、部員同士の交流を深め、部員の資質向上を図ってまいります。

また、壮青年部発足5年となりますので何らかの催しを行う予定です。今後も壮青年部は組織を増強し、県連、単会に貢献できるよう精進してまいります。これからもご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひ申し上げます。



電子地域通貨「あさごPay」発行の取組み（朝来市商工会）

朝来市商工会（会長 西垣 隆）は令和3年度より電子地域通貨について検討を始め、令和4年度には「産学連携支援事業」として市内の観光関連事業者、朝来市役所、朝来市観光協会、関西学院大学（奥貴麻紀准教授）と連携し「あさごPay2022」を販売した。「あさごPay2022」は地方創生臨時交付金を活用することで、総額1億3,000万円（内プレミアム分3,000万円）の規模で販売したところ、5,411人が利用した。これは市民の約16.3%を占めており、特に高齢者が市内加盟店舗で「あさごPay2022」のスマート決済を積極的に利用した。



「あさごPay」は物価高、燃料高騰といった厳しい経済環境のもと、消費喚起、域内経済の循環、小規模零細企業のDX推進に着目した事業である。当商工会の職員

は経営支援の一環として、「あさごPay」の導入による新規顧客の獲得や売上向上について支援を実施してきた。さらに朝来市役所、事業者、市民からの要望もあり、令和5年度は4月より「地域経済再生支援事業」を活用し朝来市と連携して「あさごPay2023春・秋」（総額2億4,000万円分、内プレミアム分4,000万円）の事業を運営している。

また、「地域経済再生支援事業」委員会では、昨年度に引き続き「あさごPay」が商品券の電子化に留まるのではなく今後の地域経済や地域社会に果たす役割を議論しており、「あさごPay」のビジョンの策定、継続的な運営に向けた課題解決に一丸となって取り組んでいる。



個人事業税の納税について

個人事業税は、所得税、住民税とは別に個人で事業を行う方にかかる税です。

第1期分の納期限は、**8月31日(木)**ですので、最寄りの銀行などの金融機関でお納めください。

また、納税には便利な口座振替制度もぜひご利用ください。お近くの県税事務所でお申込みいただけます。

個人住民税は、県民税と市町民税をあわせて市町が課税し、徴収する税です。給与所得者と65歳以上の年金受給者は、給与や年金から特別徴収され、それ以外の方は、市町から送付される納税通知書により、原則として年4回に分けて納めていただきます。

給与所得者等以外の方の個人住民税の第2期分の納期限も、個人事業税と同じ**8月31日(木)**（市町により納期限が異なる場合があります。）になっています。

※お問い合わせはお近くの県税事務所またはお住まいの市（区）役所、町役場まで

東日本大震災の教訓を踏まえた防災施策の実施に伴い、令和5年度までの個人住民税の均等割の税率が年額1,000円（県民税500円、市町民税500円）引き上げられています。また、県民税均等割のうち800円は緑の整備のための「県民緑税」です。

兵庫県・市町

